

## 施策 3 1 4

## 水産業の振興

担当当局：農水商工部

### 県民の皆さんとめざす姿

県内産の魚介類などを安定的に供給できる希望ある水産業・漁村が実現されることで、県民の皆さんは豊かな水産物等とおして水産県であることのすばらしさを実感しています。

### 現状と課題

- 水産資源・漁業生産の減少、漁業者の高齢化と急速な減少および水産物消費の低迷など、水産業・漁村を取り巻く状況が厳しさを増しています。
- 東日本大震災で被害を受けた本県水産業を復興するとともに、近い将来に発生の可能性が指摘される大型地震による大規模災害への備えが重要となっています。
- 漁協が水産業振興の中核的な役割を果たせるよう、引き続き県1漁協に向けて漁連等と連携して合併促進の取組を進める必要があります。
- 漁場の環境保全、資源管理および水産物の付加価値向上への取組等を進めるとともに、県民が県産の魚介類を購入しやすくなる地域内流通の仕組みの充実を図る必要があります。
- 東日本大震災をふまえた安全・安心な漁村づくりの必要性の高まりや荒天時に係留・陸揚げができる岸壁の不足等漁港や海岸保全施設の整備をさらに進める必要があります。

### 変革の視点

「三重県水産業・漁村振興指針（仮称）」に基づき、水産業・漁村のめざす姿を共有するとともに、県民の皆さんが期待する水産物などを安定的に提供できる希望ある水産業・漁村が実現されるよう、資源管理の実施による収益性の向上や6次産業化等による付加価値向上などを図ります。

### 平成 27 年度末での到達目標

県1漁協のもと、さまざまな主体の参加による豊かな海の回復、持続的な水産資源の利用と収益性向上などを図ることにより、県民の皆さんの多様化する期待に応える水産物の安定的な供給が進んでいます。

### 県民指標

目標項目	現状値	目標値	目標項目の説明
主要魚種生産額の全国シェア	7.1% (21年)	7.3% (26年)	海面漁業における主要 18 種の生産額の全国シェア

### 平成 24 年度の取組方向

- ① 東日本大震災などの教訓を生かし、災害に強く生産性の高い水産業を構築するため、漁業者自らが経営力を持ち、高い付加価値を生み出す産業をめざし、地域水産業・漁村振興計画の策定・実現を支援するとともに、水産業・漁村を総合的にコーディネートできる組織としての県1漁協の実現を促進します。
- ② 資源管理の徹底により、持続的な生産が可能な水産業の確立を図るとともに、密漁者に対する監視・取締りの強化に努めるほか、消費者視点の水産物の提供や情報の発信、安全・安心への取組を進めるなど、県民の皆さんが期待する水産物を安定的に供給する体制づくりを進めます。
- ③ 生産者・食品産業事業者・行政等が連携して「フード・イノベーション」を創出する中で、地域特有の水産資源を活用し、消費者ニーズに対応する商品を開発・提供する取組を進めます。
- ④ 消費者ニーズに対応した養殖技術の開発と普及に取り組み、地域特性に応じた養殖水産物の高品質化などを推進するほか、三重の真珠の復活をめざし、技術開発を進めるとともに、生産者が取り組む再生への取組を支援します。

- ⑤ 持続的な生産を支える水産基盤の整備や住民が安心して快適に生活できる環境整備を進めるとともに、環境にやさしい水産業への取組を進め、環境浄化機能を最大限発揮させることで、美しく豊かな海を維持し、魚介類の生育環境の改善を進めます。
- ⑥ 内水面資源の維持・増大をめざし、アユ等の種苗放流や外来魚の駆除対策等を進めるとともに、魚道整備などの魚類等の生育に適した環境づくりを推進します。

## 主な事業

- ① 水産業・漁村振興計画策定事業（農水商工部）
  - 【基本事業名：31401 水産業・漁村のマネジメント体制の確立】
  - 予算額：(23) 4,000千円 → (24) 3,000千円
  - 事業概要：地域における水産業のあり方や漁村の活性化等について、その方針を定める「地域水産業・漁村振興計画」の策定・実現を支援します。
- ② 漁協合併等対策指導事業（農水商工部）
  - 【基本事業名：31401 水産業・漁村のマネジメント体制の確立】
  - 予算額：(23) 6,090千円 → (24) 4,203千円
  - 事業概要：漁協の経営不振を抜本的に解決するための改善指導を行うとともに、漁協組織の再編を推進します。
- ③ （一部新）産学官連携「みえのリーディング水産商品等」開発事業（一部）  
（農水商工部）
  - 【基本事業名：31402 高い付加価値を生み出す水産業の確立】
  - 予算額：(23) 22,760千円 → (24) 23,697千円
  - 事業概要：マダイ、ノリ、アサリ、マグロといった三重県を代表する水産物について、産学官のさまざまな主体の知識や技術等を結集し、フードイノベーションを通じた新たな商品の創出を促進します。
- ④ 資源管理体制・機能強化総合対策事業（農水商工部）
  - 【基本事業名：31402 高い付加価値を生み出す水産業の確立】
  - 予算額：(23) 10,392千円 → (24) 9,160千円
  - 事業概要：国の資源管理・漁業補償対策大綱に基づき、水産資源の管理・

回復を図るため、漁業者が計画的に資源管理に取り組める体制の構築および支援に取り組みます。

- ⑤ （一部新）漁業版就職支援事業（農水商工部）
  - 【基本事業名：31402 高い付加価値を生み出す水産業の確立】
  - 予算額：(23) 12,260千円 → (24) 9,866千円
  - 事業概要：漁業への就業を支援するため、漁師育成機関を拠点化し、漁村地域に若者等を漁業担い手として漁村地域に定着させる仕組みづくりを促進します。
- ⑥ 県営緊急津波対策海岸保全事業（再掲）（農水商工部）
  - 【基本事業名：31403 自然と共生する生産性の高い水産業・漁村の構築】
  - 予算額：(23) 25,200千円 → (24) 378,000千円
  - 事業概要：漁村地域における津波被害を軽減させるため、水門・防潮扉等の整備を進めます。
- ⑦ 県営地域水産物供給基盤整備事業（農水商工部）
  - 【基本事業名：31403 自然と共生する生産性の高い水産業・漁村の構築】
  - 予算額：(23) — 千円 → (24) 157,500千円
  - 事業概要：台風の大規模化等に対する越波を防ぐため、堤防・護岸の嵩上げ等を実施し、漁船の安全係留および早期に出漁できる体制を構築します。
- ⑧ 市町営農山漁村地域整備事業（水産基盤整備）（農水商工部）
  - 【基本事業名：31403 自然と共生する生産性の高い水産業・漁村の構築】
  - 予算額：(23) 195,230千円 → (24) 287,283千円
  - 事業概要：漁村地域のニーズに応じて作成された計画に基づいて、漁港整備や環境向上に必要な整備を実施します。
- ⑨ （新）モデル構築支援水産基盤整備（農水商工部）
  - 【基本事業名：31403 自然と共生する生産性の高い水産業・漁村の構築】
  - 予算額：(23) — 千円 → (24) 325,000千円
  - 事業概要：フードイノベーションを通じた新たな商品の創出を促進する上で、水環境の悪化が著しく、早急に改善する必要がある内湾の漁場のうち、地域住民ならびに生産者自身の取組だけでは改善が困難な地区について、重点的に漁場の再生を実施します。